

発行 松 戸 市 議 会
編集 広 報 委 員 会
千葉県松戸市根本 387-5
TEL. 366-1111

会議録検索のURL
<http://www.kaijiroku.net/kensaku/matsudo/matsudo.html>
松戸市のホームページ(<http://www.intership.ne.jp/matsudo/>)
からもアクセスできます。

議会だより



松戸中央公園

3月定例会

平成 16 年 3 月定例会は、3 月 1 日から 24 日まで開催されました。

今定例会は、市長から提出された平成 16 年度予算案や一般議案、市民から提出された請願・陳情が、予算審査特別委員会や各委員会で審査され、最終日には、これらの議案の他、議員提出議案が上程され、採決されました。(7 面に審議結果を掲載)

なお、市政に関する一般質問は、代表質問 5 人(5 会派) 個人質問 4 人の合計 9 人が行いました。

主な内容

- P2~3... 一般質問
- P4..... 一般質問・常任委員会の審査
- P5..... 予算審査特別委員会の審査
- P6..... 予算討論
- P7..... 審議結果・意見書・人事案件
- P8..... 市議会表彰・次回発行日・編集の窓
ほか

3月定例会の日程

- 1 日 本会議
市長の施政方針説明
議案の説明
- 2 日 常任委員会
常任委員会開催(補正予算)
- 4 日 本会議
補正予算等の採決
- 8・9・10 日 本会議
市政に関する一般質問
- 11 日 常任委員会
総務財務・健康福祉常任委員会
- 15 日 常任委員会
教育経済・都市整備常任委員会
- 16・17・19・22 日
予算審査特別委員会
- 24 日 本会議
議案・請願・陳情の採決
議員提出議案の上程・採決

市民クラブ

行財政改革で
実現すべきものは

問 事業再構築として重視すべき民営化について、その基本方針と今後の具体的計画は。また、総人件費抑制の今後の取り組みについて問う。

答 民営化については、二つの流れがあると考ええる。一つは事業を民間に開放し、市場原理に基づいた自由競争に転換することであり、もう一つは民間ノウハウを活用し行政の効率化を図ることである。いずれにしても規制を緩和して構造的な転換を図ることは時代の要請であり、積極的に推進すべきものと考えている。特に公立保育所の民営化については、今回の改革の中で平成17年度から19年度までの3年間に3ないし4箇所を実施したいと考えている。具体的には、17年度実施に向けて箇所付けや実施方法などを含め検討に入るよう指示しており、民営化による財政的な効果に留まらず、多様な保育ニーズに積極的に対応することにより高い効果を求めたい。

総人件費の抑制については、人件費が給与と職員数により積算されることから、数値を下げることに以外に手段がなく、両面での削減を実施せざるを得ない。今後、職員の人気を高めるための措置を併せて実施し、さまざまな方策を実現しながら対応していきたい。

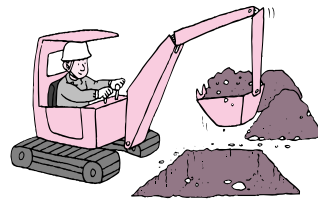
公共投資と
まちづくりについて

問 地方自治体において、公共投資こそ生活基盤の整備という「まちづくり」の重要な役割を果たしている。また、本来は財源より先ず市として公共投資により、どのようなまちづくりをしていくのか、投資対象あるいは全体のバランスについて目標設定すべきものと考えているが、市の見解は。

答 公共投資すなわちまちづくりのあり方については、松戸市総合計画において「いきいきとした市民の舞台」、「にぎやか地域」の舞台、「風格ある都市の舞台」のそれぞれが相互に関連し調和されることによって創造されるものと考えている。また、同計画における都市基盤整備の施策展開として、「広域交通ネットワークの整備」、「都市の活動を支える交通環境の整備」、「災害に強い都市基盤施設の整備」を掲げており、これらのことは、全体のバランスについて目標を設定し、今後のまちの姿など明確なビジョンを立てた上で公共投資を進めていくものであると考えている。

各分野の行政サービスをバランス良く計画的に実施していくに当たり、昨今の経済状況の低迷による財源問題が障害となっている。しかし、市民生活に必要とされる都市基盤整備のための公共投資の中で、限られた財源・資源の活用方法の見直しなどにより、同等の効果が得られるよう実施すべきものと考えている。本市においては、一定の基盤整備の成果により生活都市として成熟期を迎えているが、時代の要請による新たな基盤整備の必要性も出てくるものと思われる。その際には既成事業の見直し、廃止および縮小も視野に入れ事業の再構築の必要もあると思われる。

今後、高齢化社会への対応や災害に対する基盤整備を進めるとともに、現存する都市基盤の良好な維持管理に努力したい。



公明党

マンモグラフィー
検診対象年齢の
拡大を

問 乳がんの早期発見に向けマンモグラフィー（乳房X線検査）検診の導入が予定されており、対象年齢が50歳から59歳の希望者となっているが、確率の高い年齢の40歳から実施できないか。

答 平成15年度の乳がん検診は、松戸市医師会に委託をし、30歳以上の女性を対象に個別検診による視触診の方法で実施している。受託医療機関数は、79医療機関でこのうちマンモグラフィーの保有医療機関は、12医療機関である。現時点におけるマンモグラフィーによる乳がん検診の国の指針として、50歳以上の女性を対象としており、16年度は、15年度の実施事業の他に50歳代の女性を対象として、集団方式によるマンモグラフィー検診を実施したいと考えている。

なお、マンモグラフィーによる乳がん検診については、厚生労働省が、がん検診の見直しのために15年12月に設置した「がん検診に関する検討会」において、マンモグラフィーによる乳がん検診の対象年齢を現行の50歳以上から40歳以上に引き上げる方針を決め、検討会は3月半ばに報告書をまとめるなどの報道がなされている。厚生労働省はこの報告を受け、国としての新たな指針を出すのではないかとと思われる。



少子化対策の
具体的内容は

問 少子化に歯止めをかけるために多くの施策の展開が必要と考え、具体的な内容について問う。

答 少子化の問題の根底には、高学歴化、非婚化、晩婚化等があるが、その問題解決へのハードルは越しがたい高さとなっている。しかし、少子化は子ども成長や社会に与える影響が大きいことから、これに対応できる社会形成に努めなければならない。

今後とも国の動向を注視し、必要に応じて関係機関と協議、検討したい。

質問

3月定例会では、8日・9日・10日の3日間、市長の施政方針を中心に市政全般にわたり、当局の考え方や疑問点について一般質問が行われました。

質問は、岡本和久・石川龍之・箕輪信矢・山口博行・谷口 薫議員が会派を代表し、さらに、沢間俊太郎・高橋義雄・中田 京・武笠紀子議員が登壇しました。



楽しいおやつ時間（北松戸保育所）

さて、今年度も教育委員会、保健福祉課、児童家庭担当部では子育てで関心するシンポジウム、講演会等を開催し、さらに充実を図りたい。

子育てサークル等への公共施設、店舗等の空き部屋の無償貸与と子育て中の親子が交流できる集いの広場づくり等については、引き続きその確保に向けて努力したい。女性センター内に子ども個性を育む学習支援コーナーを開設し、子育て中の方々に対象とした場の提供や育児相談等を行う予定である。乳幼児健康診査の休日実施については、医師会、歯科医師会の協力や健診従事者の確保が不可欠であり、今後とも協議していきたい。

夜間・休日等に保護者会等を実施する件については、小・中学校をはじめ保育所や放課後児童クラブでかねてより、保護者の都合に合わせて保護者会を行っている。多様な保育ニーズへの対応については、保育サービスが必ずしも市民の多様なニーズに適切でない面もある。このため、私立保育所や民間事業者との連携、民間活力の導入などの面が対応を図りたい。出産祝金の支給については、少子化対策の効果等を見極め慎重な対応が必要と考える。

答 本市に隣接する流山・柏市内を通るつくばエクスプレスは、平成17年秋の開業を目指し整備が進められている。これにあわせ県内5つの新駅周辺では、新市街地を整備中であり、これによる人口の増加が予想されることである。しかし、昨今の状況を加えると、新市街地への新たな人口増加はかつてなく、周辺地域内での移動ということも予想される。そのため新市街地の人口増加がそのまま本市の道路負担の増加につながることはいかに考えていく必要がある。また、広域の大型道路である東京外環状道路の整備も着々と進んでいる。これらのさまざまな状況をふまえ、16年度に都市計画道路網の調査を予定している。このなかで、都市計画道路の現在の需要実態を分析するとともに、社会経済情勢の変化や、流山・柏・鎌谷市など近隣市での大規模な市街

21世紀クラブ

つくばエクスプレス
完成後の道路需要の
変化への対応を

問 つくばエクスプレス開通に伴い、沿線周辺は宅地開発が進み人口の増加が想定される。交通渋滞など本市の市民生活への影響が懸念されるが、開通に伴う市内の交通環境の変化をどのようにとらえているか。また、予測される課題に対する対処策などの検討はしているか。

答 本市に隣接する流山・柏市内を通るつくばエクスプレスは、平成17年秋の開業を目指し整備が進められている。これにあわせ県内5つの新駅周辺では、新市街地を整備中であり、これによる人口の増加が予想されることである。しかし、昨今の状況を加えると、新市街地への新たな人口増加はかつてなく、周辺地域内での移動ということも予想される。そのため新市街地の人口増加がそのまま本市の道路負担の増加につながることはいかに考えていく必要がある。また、広域の大型道路である東京外環状道路の整備も着々と進んでいる。これらのさまざまな状況をふまえ、16年度に都市計画道路網の調査を予定している。このなかで、都市計画道路の現在の需要実態を分析するとともに、社会経済情勢の変化や、流山・柏・鎌谷市など近隣市での大規模な市街

無所属

リストラの成果は

問 公約のひとつである行政リストラのうち、職員数削減について実績と今後の目標および人員費の推移を伺う。

答 職員数を10年間で10%削減するというのが目標は、平成11年度に財政の健全化を目的として策定した財政改革計画で設定したものである。一般および特別会計の合計で20年度までに職員予算定数を約350人削減する内容である。

具体的な定数の推移は、10年度3515人に対し、15年度実績で3375人である。16年度は3329人を予定しており、対10年度比で186人、5・3%減の予定である。なお、15年12月に策定した行政改革計画で、前計画の目標を一年前倒しして、19年度までに全会計で230人の定数削減目標の設定をしたところである。

人員費では、一般、特別会計予算額の合計から、退職手当を除いた額では、10年度312億7700万円に対し、16年度293億4200万円、対10年度比19億3563万円、6・18%減の予定である。

無所属

市立病院の
建替について

問 最新の医療技術を採用したいといった病院改革を求めるが、市長の見解を伺う。

答 市立病院は、安全で納得できる高度な医療を提供することに加え、人間性にあふれ、優れた快



質の高い医療を目指して

適環境を持つことが理想であると考えている。良質な医療サービスの提供と、健全な病院経営の維持を図るため、新しい整備手法や運営方法について、研究・検討を示しているところである。

また、今後の市立病院のあり方については、基本的な外来診療機能は診療所などのかかりつけ医にゆだね、高度医療および救急、小児感染症および災害などの政策医療の領域にその能力を集約し、一層質の高い効率的な医療を提供していくべきであると考えている。

無所属

職員の士気の
高揚をめざして

問 東京都23区では管理職昇格に際しての選考試験を行っている。試験を受けることが管理職になる要件のすべてではないが、本市においても管理職の選考試験を実施する考えはないか。

答 管理職の登用については、指導監督力、企画立案力、折衝力などの評定要素を総合的に判断し、組織・機構の必要性に合わせて行っている。今後、ますます行政を取り巻く環境は変化し、人事評価

無所属

まちづくりにおける
樹林地の保全とは

問 松戸市固有のみどりである樹林地等において、「矢切の緑面林」、「21世紀の森と広場」および、「関さんの森」の保全については、緑花清流の松戸のまちづくりなどのように関わって考えるか。

答 これらの樹林地については、社会資産、自然資産としてかけがえのない貴重なものであり、可能な限り後世に残していかなければならないと考えている。このような観点から、平成10年に策定した「松戸市緑の基本計画」において、もしかへき位置付けをしている。しかし、樹林地のほとんどが個人所有であるため、年々の経過により徐々に喪失しており対応に苦慮している。買取による保全は、厳しい財政事情が困難な状況であるため、現実的な保全策として地主の意向に依存せざるを得ない。また、お願いをしているところである。緑の保全を図ることは基本政策の一つであり、さらに努力したい。

総務財務

議案第67号
松戸市女性センター条例の一部を改正する条例の制定について

議案の内容
子どもの個性を育む環境の整備働きたい女性の就業支援といった重点施策を推進するため、女性センター施設内の改修を行い、男女共同参画社会の形成に資するため提案されたものである。

問 女性の就業は非常に厳しい環境の中にある。具体的にどのような業務を実施しようと考えているか。

答 就業について、困難を抱える女性がより望むようなたちでの就業が実現できるよう、就業に関する情報提供や相談を実施したい。具体的には、就業関係の図書資料、公的サービスや各種相談機関に関する情報の提供である。女性のライフスタイルや置かれている状況を理解し、同じ目線で共感しつつサポートするため、市民ボランティアとともに対応したい。この体制づくりのために、平成15年度の事業として仕事サポートボランティア養成講座を実施した。

問 このころの相談業務について相談内容の傾向を伺う。

答 相談内容では夫婦関係、家

常任委員会の
審査から

審査から

族関係の相談が非常に多い。夫婦関係では、夫からの暴力に関する相談が高い割合を占めている。家族関係では人間関係やストレスからの体調不良や心身の症状で苦しんでいる子どもを抱えて混乱しているなどの相談が多くなっている。また、夫からの暴力に關する相談件数の推移を見ると、平成12年度52件、13年度72件、14年度42件となつてい。最近の傾向としては、夫からの暴力で自分を見失いそうであり、言葉の暴力などによる内容のつらさを訴る相談が増えている。

議案の内容
40歳以上65歳未満の被保険者（介護保険2号被保険者）に係る介護納付金課税の保険料率について、介護給付費の増加が見込まれることから、保険料率の改正を行うとともに、地方税法の改正に伴う所要の改正を行うものである。

問 2号被保険者の介護分の保険料率決める仕組みについて伺う。

答 介護保険の給付率のうち50%は公費（国が25%、県と市が12・5%ずつ）が負担し、残りの50%を1号被保険者が18%、2号被保険者が32%を負担することになっている。また、2号被保険者の介護保険料は、各医療保険制度の保険者が医療分の保険料と合わせて徴収することになっている。2号被保険者の保険料率を決める仕組みであるが、介護保険に關して厚生労働省が毎年給付費全体の見込額を算定し、一人当たりの負担見込額（予算上の見込額とは若干異なる）を告示するので、その額に加入者数を乗じた額が保険者としての概算の介護納付金となる。各保険者は、介護納付金から国の定率負担等を差し引いた額を保険料の総額として算出する。それぞれその額を保険料の所得に基づく賦課対象額および被保険者数で割り返して所得割および均等割の保険料率を算定している。



改修が待たれるゆうまつど

健康福祉

議案第80号
松戸市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

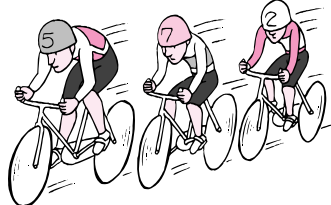
教育経済

議案第82号
松戸市自転車競走実施条例の一部を改正する条例の制定について

議案の内容
自転車競走技術および同法施行規則の一部が改正されたことに伴う改正で、競輪の実施事務の一部を南関東自転車競走会にだけなく、他の地方公共団体や私人に委託することができると改め、事業の委託の拡大により、民間活力を導入して事業の合理化等を促進し経営の安定化を図るものである。

問 私人とはどのような団体が考えられるか。また、将来私人に委託する場合の選定基準は、

答 一般的に考えられるのは、施設所有会社、保守管理会社などがある。他に人材派遣会社、請負会社、大手の総合管理会社などが想定できる。選定の基準として、施設所有会社は、管理全般にわたる業務に精通していること、保守管理会社は、開催の実務に關与すること、があげられる。人材派遣会社、請負会社については、車券発売を中心とする人材の派遣、大手管理会社については、建物等のハード面の管理実績などが考えられる。



予算審査特別委員会の審査から

平成16年度予算案(10会計)を可決

予算審査特別委員会委員

委員長	吉岡 五郎		
副委員長	桜井 秀三		
委員	吉田 博一	山口 栄作	
	大井 知敏	張替 勝雄	
	田居 照康	岩堀 研嗣	
	二階堂 剛	渡辺美喜子	
	伊藤余一郎	渡辺 昇	



より利便性を目指して

総務費
行政サービスセンターを
わかりやすく
問 松戸駅に開設された行政サービスセンターは、市民に大変喜ばれているとのことだが、これまでの利用状況は、また、場所がもう少し目立つようなまではないか。

総務費

答 利用者数については、1日平均で10月が80件、11月が110件、12月が130件、1月が150件、2月が160件となっており、今後も右肩上がり推移していくものと考えている。

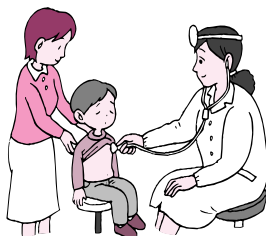
問 場所のビジュアルについては従来の「広報まど」等に加え、今後新築と協議し、東口デッキ側からセンターが見えるので、センターの壁または窓ガラスにシールを貼るか看板を設置するなどの方法を考えている。

民生費

放課後児童クラブについて

問 放課後児童クラブとして1年が経過したが、現状と今後の課題は、

答 現在、36クラブ中29クラブが法人化を完了している。内訳としては、社会福祉法人が5法人で10クラブ、NPO法人が2法人で19クラブとなっている。残りのク



ラフについても今後、それぞれ法人化が予定されており、移行先が未定なのは現時点でおり、移行のみとなっている。この法人化にあわせて補助金の見直しや会費の標準化を進める一方、就業規則のガイドラインを示すことによりサービスの向上を目指している。今後の課題としては、評価システムや苦情処理システムの開発および障害児の受け皿づくりなどがあり、これらについて着実に進めていきたい。

衛生費

夜間小児急病診療所について

問 小児急病診療事業における担当医は小児科医か。全国的に小児科医が減少している中で、その養成をどう考えるか。また、診療時間を延長できないか。

答 本年4月から衛生会館において実施する小児急病診療所の担当医は、市内の小児科専門医が18人、内科・小児科医が6人、市外からの小児科医6人を予定している。そのほか通常内科医を標榜しているが、子どもも診療している医師が40人いるので、小児科専門医と共に診療を考えた形で小児科医の養成を考えている。時間の延長については、医師会と検討した中で、午後8時から11時までと決定した。今後は24時間体制に向けて準備をしていきたい。

消防費

消防救急自動車機能と運用は

問 消防救急自動車が大変消防に配備されるが、その機能と運用方法について伺う。

答 これは、消防ポンプ車と同じ、1分間に最大約2400リットル(ドラム缶12分)の放水能力を持ち、また車内には、酸素吸入装置、電動吸引機、血圧計、傷病者用担架などが装備され、救急車としての機能も同時に搭載している。なお乗車定員は、消防隊員4名、傷病者対応として2名の計6名である。運用方法は、通常の傷病業務に対応するとともに、火災などの災害出場時は、消防ポンプ車として活動する。また、管内の救急車が、出場中で救急要請があった場合には出陣し、緊急時には傷病者に応急処置をしながら医療機関に搬送する。

商工費

二十世紀梨地域交流事業とは

問 二十世紀梨地域交流事業経費における鳥取県との記念事業について伺う。

答 鳥取県との交流100年を記念したこの事業では、鳥取県を中心として倉吉市や全鳥取の記念式典やイベントなどが計画されている。4月に鳥取で開催予定の「二十世紀梨親木感謝祭」には、二十世紀梨の原木を育てた松戸覚之助氏のお孫さんの出席を予定している。また、7月には倉吉市と松戸市の市民劇団による合同公演が倉吉市で開催される予定である。この事業は、市民交流を主体としているので、広報等で募り、市民に合同公演や記念式典に参加していただければと考えている。

教育費

小・中学校の机・椅子有効活用を

問 児童・生徒用および教員の机や椅子の入れ替えに伴い発生する、不要な机・椅子について伺う。

答 平成16年度の入替に伴い約4000セットの不要な机、椅子が出るが、平成15年に引き続きカンボジア王国に対し、使用可能な机・椅子約10000セットを無償供与したい。これは外務省の「リサイクル草の根無償制度」を活用したもので、輸送費は国が負担する。16年1月にはカンボジア王国フンセン首都から感謝状をいただいていた。18年度までこの事業を継続する予定である。また残りの机・椅子は業者に処分委託する予定である。

特別会計

介護保険会計

介護認定やサービスについて

問 認定やサービスに関する苦



カンボジアに送られた机・椅子

病院会計

市立病院の電子カルテ導入について

問 電子カルテについて、メリット、デメリットを伺う。

答 メリットについては、診療や検査予約の一元管理が図られること。また、外来の待ち時間の目安が明確になり、待ち時間の短縮につながる。さらに、検査数値を表やグラフを使い画面で説明することが可能になること。治療データが蓄積されていくのでより精密なデータ分析が可能になることなどがあげられる。

デメリットについては、システムの導入にあたって非常に多額の費用がかかることや多種多様な異なる医療業務の標準化を図る必要があること。また、医師、看護師、技師など勤務している職員に対して「電子カルテシステム」操作研修を実施しなければならないことなどがあげられる。

企業会計

市立病院の電子カルテ導入について

導入について

問 電子カルテについて、メリット、デメリットを伺う。

答 メリットについては、診療や検査予約の一元管理が図られること。また、外来の待ち時間の目安が明確になり、待ち時間の短縮につながる。さらに、検査数値を表やグラフを使い画面で説明することが可能になること。治療データが蓄積されていくのでより精密なデータ分析が可能になることなどがあげられる。

デメリットについては、システムの導入にあたって非常に多額の費用がかかることや多種多様な異なる医療業務の標準化を図る必要があること。また、医師、看護師、技師など勤務している職員に対して「電子カルテシステム」操作研修を実施しなければならないことなどがあげられる。

情はどのように処理しているか。

答 認定に関する苦情については、個々に内容を確認し、判定の理由や経過について直接説明をしている。納得できない場合は、再度申請することもある。また、千葉県介護保険審査会に不服申し立てをしていただき、客観的に審議してもらう方法もある。サービス内容に対する苦情については、介護支援課をはじめ、認定を受けた方それぞれについているケアマネジャーや各事業所の苦情処理担当者などが連携し苦情の処理にあたり、また例はないが、どうしても納得できない場合は、千葉県国民健康保険団体連合会に申し立てを行う方法もある。

市民クラブ 21世紀クラブ

市民クラブ、21世紀クラブを代表して、一般会計 特別会計 企業会計の10件すべてに賛成する。

平成16年度の地方財政の収支見通しによると、地方財政全体の歳入歳出規模は84兆6669億円で前年度比1・8%の減となり、引き続き財源不足が見込まれる。本市においても厳しい財政状況であり、新年度の予算編成には苦慮されたものと思われる。

一般会計予算として総務費では防犯・環境美化を目的とした安全で快適なまちづくりの推進事業、安全パトロールの実施および自転車駐車場の防犯カメラ設置事業など

公明党

一般会計、特別会計、企業会計のすべての会計に賛成する。

長引く不況により財源移譲が明確にならない位一体改革緊急避難的とも言える昨年暮れの松戸市行財政改革の中で平成16年度予算案定に対し関係各位の努力に感謝する。

総務費については、4月から施行される「松戸市安全で快適なまちづくり条例」に計された予算が「松戸は安全できれい」と誰からも言われるような効果的な執行をお願いする。また、この条例に関連した放置自転車対策、防犯対策にも力を入れていきたい。

選挙費については、低迷している投票率の向上のために、投票所のバリアフリー化を進めたい。特に児童手

市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを目指すことを評価する。が展開されていることを評価する。民生費では、保健、医療、福祉の充実が図られることが市民共通の願いであると確信しており、厳しい財政状況の中で大幅な増額がされていることに敬意を表する。

市民が安全で安心して暮らせるまちづくりを目指すことを評価する。が展開されていることを評価する。民生費では、保健、医療、福祉の充実が図られることが市民共通の願いであると確信しており、厳しい財政状況の中で大幅な増額がされていることに敬意を表する。

商工費では、商店街の活性化対策および空き店舗対策について引き続き努力願いたい。

土木費では、新成常盤平駅のエレベーター設置に対する補助が計上されているほか、引き続きワンステップバス導入への助成が図られており、バリアフリーの観点での施策が種々感じられる。

消防費では、日本初の消防救急自動車が一寒消防署に配備される予定であり、その活用を期待するものである。

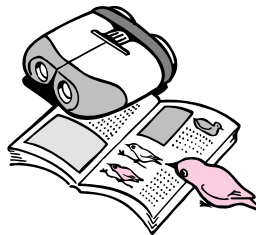
教育費では、中学校のスクールカウンセラーの全校配置が完了し

であり、その努力を評価する。

次に財源としての歳入については、長引く景気の低迷により市税は3年連続して減額となっているが、歳入の根幹を成すものであり、税収確保については引き続き努力願いたい。

次に介護保険特別会計では、「三位一体」の改革により事務費交付金が廃止され、一般会計からの繰入が廃止されているが、高齢化社会を反映し、今後も給付費や事務費等の増加が見込まれるためやむを得ないものと思われる。

病院事業会計では、17年度の本格稼働に向けて電子カルテシステムが開発されており、更なる医療体制の充実に努力されるよう要望する。以上すべての会計に賛成する。



日本共産党

一般会計、特別会計（下水道、駐車場特別会計を除く）に反対する。

内閣は、年金保険料の引き上げや国庫補助・負担金の廃止、縮減や交付税制度の見直しを行い、また県も巨額開発で浪費を続ける一方で、財政危機として、国民健康保険への県支出金や商店街へのアーチ・街路灯への補助金を廃止した。これらの中で市民の命と健康、営業と暮らしをどう守るかの視点に立ち審査にあたった。

まず、一般会計総務費では、終戦60周年を迎えるにふさわしい平和



市民の声21

一般会計予算に反対する。

国の三位一体改革による本市における影響は、要介護認定事務費交付金の廃止により、8128万円、公立保育所運営費負担金の廃止により7億4733万円が削減となり、新たな財源措置の所得増と税を差し引いても全体で9477万円のマイナスとなっている。市民税の減収など厳しい中で、新年度予算編成であったと拝察する。

和事業の推進について求めた。民生費では、特別養護老人ホームについて、国、県の補助が削減される中、市有地の無償貸与とを行い、目標床数達成に全力をあげるよう強く要求した。

商工費では、制度融資廃止は実績から大きな影響を与えるものであり、改めて市の直接融資制度を検討するよう求めた。

土木費では紙敷土地区画整理事業について、総額で55億円の公金投入をせざるを得なくなった事態の責任は免れないことを指摘し、市民からのパブリックコメントを強く求めた。

教育費では、学校選択制が小規模校を選択したい多くの地域住民の望みを断ち切り、これは市教育委員会の自由な選択さえ奪い取るものである。現に選択制導入により16年3月19日の時点で新入学希望者が8名となった中学校も

総務費の自転車放置防止対策事業は、馬場駅を除く各機能がなく、空き駐輪場が多いことから、使用料と距離の見直しを早急に行い、歳入の確保を要望する。

民生費については、知的障害者の移動介護サービスやデイサービスの充実を要望する。生活保護法による各種扶助金については、就労支援などの細やかな支援とそのための職員配置を要望する。

衛生費の塵芥収集委託については、収集量が減っているのに休日・休日の収集により委託費用が約5000万円増えているので、市民の理解を得て、祝日・休日収集の見直し、回収日の見直しなどを検討するよう要望する。

農林水産業費について、堆肥化の促進と地元農産物の地産地消の取り組みを要望する。

土木費については、建築確認支援システム関係経費は、建築確認

ある。また、統廃合準備事務局の設置を教育委員会会議での「合意が得られなければ強行しない」という最低限の約束事を守るべきである。以上一般会計に反対する。

一般会計からの繰入増額と保険料の引き下げや減免規定を作るべきことを求め本会計に反対する。

競輪会計では、自治体財政をキヤンフルに頼るべきでなく本会計に反対する。

市場会計では、市場の施設を所有する法人が会社更生法の適用を受けた。公設民営の借り上げ方式、1市2市場という非効率を指摘し本会計に反対する。

老人保健会計では、国の制度改善に伴う受診率の低下、高齢者の自己負担の増大など、容認できず本会計に反対する。

介護保険会計では、保険料助成制度は一般会計からの助成に反すべきであり本会計に反対する。

の件数が民間検査機関で行われる割合が64%と年々増えている。マンション紛争など住民との協議が十分に行われないで建築確認がおりてしまうことなどが心配されるので、市の指導調整のあり方を検討するよう要望する。

消防費については、火災による出動件数が増え、市民の生命と財産を守る重要な職務なので、職員の増員を要望する。

教育費については、学校の適正規模・適正配置に伴う施設整備費の計上は、「統廃合を強行しない」としての姿勢を誠実に実行するのであれば、当初予算でなく補正予算で十分だと考えるので反対である。また、小学校給食委託については、新たに6校が提案されているが、昨年から始めた4校の民間委託の検証がどのようになったのか真剣に議論すべきであると考え、

以上のことから一般会計予算に反対する。

ある。また、統廃合準備事務局の設置を教育委員会会議での「合意が得られなければ強行しない」という最低限の約束事を守るべきである。以上一般会計に反対する。

3 月 定 例 会 審 議 結 果

番 号	件 名	本 会 議 の 結 果		番 号	件 名	本 会 議 の 結 果	
市長提出議案				第73号	松戸市立学校及び松戸市立幼稚園の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の一部改正条例	可 決	全会一致
第47号	平成15年度松戸市一般会計補正予算(第5回)	可 決	多数意見	第74号	松戸市職員退職手当支給条例の一部改正条例	可 決	全会一致
第48号	平成15年度松戸市国民健康保険特別会計補正予算(第2回)	可 決	多数意見				
第49号	平成15年度松戸市下水道事業特別会計補正予算(第1回)	可 決	多数意見	第75号	松戸市土地開発基金条例の一部改正条例	可 決	多数意見
第50号	平成15年度松戸市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1回)	可 決	多数意見	第76号	松戸市市税条例の一部改正条例	可 決	全会一致
第51号	平成15年度松戸市老人保健事業特別会計補正予算(第2回)	可 決	多数意見	第77号	松戸市手数料条例の一部改正条例	可 決	全会一致
第52号	平成15年度松戸市介護保険特別会計補正予算(第2回)	可 決	多数意見	第78号	松戸市立高等学校授業料等徴収条例の一部改正条例	可 決	多数意見
第53号	平成15年度松戸市水道事業会計補正予算(第1回)	可 決	多数意見	第79号	松戸市学童災害共済条例の一部改正条例	可 決	全会一致
第54号	平成15年度松戸市病院事業会計補正予算(第2回)	可 決	全会一致	第80号	松戸市国民健康保険条例の一部改正条例	可 決	多数意見
第55号	平成16年度松戸市一般会計予算	可 決	多数意見	第81号	松戸市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部改正条例	可 決	全会一致
第56号	平成16年度松戸市国民健康保険特別会計予算	可 決	多数意見	第82号	松戸市自転車競走実施条例の一部改正条例	可 決	多数意見
第57号	平成16年度松戸市松戸競輪特別会計予算	可 決	多数意見	第83号	国保松戸市立病院附属看護専門学校の設置及び管理に関する条例の一部改正条例	可 決	多数意見
第58号	平成16年度松戸市下水道事業特別会計予算	可 決	多数意見	第84号	国保松戸市立病院附属看護専門学校生徒就学資金貸付条例の一部改正条例	可 決	全会一致
第59号	平成16年度松戸市公設地方卸売市場事業特別会計予算	可 決	多数意見	第85号	損害賠償の額の決定	同 意	全会一致
第60号	平成16年度松戸市老人保健事業特別会計予算	可 決	多数意見	第86号	助役の選任	同 意	全会一致
第61号	平成16年度松戸市駐車場事業特別会計予算	可 決	全会一致	議員提出議案			
第62号	平成16年度松戸市介護保険特別会計予算	可 決	多数意見	第16号	松戸市議会会議規則の一部改正規則	可 決	多数意見
第63号	平成16年度松戸市水道事業会計予算	可 決	多数意見	第17号	食料自給率の向上及び食の安全を保障する制度の抜本的強化を求める意見書	否 決	多数意見
第64号	平成16年度松戸市病院事業会計予算	可 決	全会一致	第18号	地方財政計画及び地方交付税等の見直しを求める意見書	否 決	多数意見
第65号	松戸市長選挙等における記号式投票に関する条例の一部改正条例	可 決	全会一致	第19号	個人情報の漏洩防止のための安全管理強化を求める意見書	否 決	多数意見
第66号	松戸市行政組織条例の一部改正条例	可 決	全会一致	第20号	マンション対策の充実強化を求める意見書	可 決	全会一致
第67号	松戸市女性センター条例の一部改正条例	可 決	全会一致	平成15年度請願			
第68号	松戸市職員定数条例の一部改正条例	可 決	全会一致	第6号	すべての子どもにゆきとどいた教育をすすめる、心のかよう学校をつくるための請願	不採択	多数意見
第69号	松戸市職員の公益法人等への派遣に関する条例等の一部改正条例	可 決	全会一致	平成15年度陳情			
第70号	特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部改正条例	可 決	全会一致	第23号	「容器包装リサイクル法の見直しを求める意見書」提出を求めることに関する陳情	継 続	審 査
第71号	松戸市立高等学校の教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例の一部改正条例	可 決	全会一致	第24号	年金制度の改善と充実を求める陳情	不採択	多数意見
第72号	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正条例	可 決	全会一致	第25号	国民健康保険制度の改善・充実を求める陳情	不採択	多数意見



助 役
宇 田 川
正

助役の任期満了に備え、助役の選任に同意しました。宇田川正助役は平成16年3月24日に同意され2期目になります。

人事案件

・マンション対策の充実強化を求める意見書

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、次の意見書を提出しました。

意見書提出



松戸市議会表彰



星野 友貴 第四中学校代表 植草 千春 杉浦正八議長 丸山 奈津子 森谷 俊 安田 友貴
本多 冬梨

個人表彰

森谷 俊

市立松台小学校

第26回全国ジュニアオリン

ピック夏季水泳競技大会

12歳男子50mフリースタイル第1位

安田 友貴

市立上本郷小学校

第20回全国少年レスリング

選手権大会

6年の部36kg級優勝

丸山 奈津子

市立第一中学校

第1回全日本インラインロ

ードレース選手権

女子ワイルドカース総合優勝

星野 友貴

市立金ヶ作小学校

平成15年度ものづくり体験

教室全国大会

ベント樹脂メカ部門 最優秀賞

植草 千春

県立松戸国際高等学校

第24回牛乳・乳製品利用料理

コンクール全国大会

農林水産大臣賞

団体表彰

第四中学校吹奏楽部

市立第四中学校

第51回全日本吹奏楽コンク

ール全国大会

中学校の部金賞

声の議会だよりをご利用ください。

松戸市障害者福祉センターでは松戸朗読奉仕会の協力を得て、視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音テープを希望者に貸し出してあります。詳しくは左記までご連絡ください。

松戸市障害者福祉センター（ふれあい22内）

TEL 383 7111

住所 松戸市五香西3 7 1

編集の窓

今定例会初日、3年前から始まった市議会表彰が行われ、その業績に対し議場内に惜しみない拍手が響きました。松戸の未来を担う若者達の更なる活躍を期待しております。

平成16年度の予算を審査する予算審査特別委員会が開催され、4日間にわたり各委員から熱心

な質疑がなされました。本市に限らず、長引く景気低迷により財政状況は厳しいものとなっており、市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

私たち議員も職員とともに「住んでよいまち、訪ねてよいまち」を目指し、努力してまいりたいと思います。

お知らせ

平成16年松戸市議会6月定例会は、6月9日（水）から22日（火）まで開催される予定です。請願陳情は5月31日（月）正午までに提出して下さい。

期日	主な内容
9日（水）	招集日・本会議（議案説明）
10日（木）	本会議（一般質問）
11日（金）	"
14日（月）	"
15日（火）	予備日
16日（水）	予備日
17日（木）	常任委員会（議案等審査）
18日（金）	"
22日（火）	本会議（議案等の議決）

* 予備日は、一般質問が行われる場合があります。



次回
発行予定は
7月25日です。